

暖地向き無エルシン酸なたね品種「ななはるか」

目的と特徴

- なたね「ななはるか（育成系統名「東北96号）」は暖地に適した無エルシン酸品種で平成25年に品種登録出願しました。
- 梅雨前に収穫できるよう、早生の暖地向けなたね品種を育成しました。
- 「ななしきぶ」よりやや低収ですが、鹿児島県での現地試験において収油量は同程度です。
- 「ななしきぶ」より圧搾油の食味がやや優れています。

「キザキノナタネ」(標準)

「ななしきぶ」
(対照)

新品種候補
「ななはるか」

九州南部において
梅雨入り前に収穫可能

油の食味が
優れる

穂発芽リスクの低減、生産の安定
良食味を生かした新商品の開発

成果

- 早生のなたね品種である「ななはるか」は、輪作体系に組み込んで栽培できます。
- 当面の普及面積は、鹿児島県内に30haを見込んでいます。

表1. 育成地における生育調査成績 (2003~2011年度)

品種・系統名	抽苔期 (月日)	開花期 (月日)	1)		2)		標準比 (%)	3)	
			成熟期 (月日)	草丈 (cm)	菌核病 発生 程度	子実重 (kg/a)		エルシン酸 含有率 (%)	
東北96号	4.01	5.02	6.26	104	1.2	26.3	81	0.0	
ななしきぶ(対照)	4.10	5.04	6.30	119	0.7	32.5	100	0.0	
キザキノナタネ(標準)	4.20	5.06	7.05	149	0.6	38.2	118	0.0	

※「東北96号」は、
ななはるかの育成
系統名:

- 注. 1) 汎用コンバインによる収穫適期は成熟期の7~10日後である。以下、同じ。
 2) 菌核病発生程度 0:無、1:微、2:少、3:中、4:多、5:甚。以下、同じ。
 3) 脂肪酸組成におけるエルシン酸の含有率。以下、同じ。
 4) 育成地は岩手県盛岡市に所在する。

表2. 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場における試験成績 (2009~2011年度)
および鹿児島県東串良町における現地試験成績 (2010~2011年度)

品種・系統名	成熟期 (月日)	草丈 (cm)	菌核病 発生 程度	子実重 (kg/a)	ななし きぶ 比 (%)	含油率 (%)	収油量 (kg/a)	ななし きぶ 比 (%)	容積 重 (g/l)	千粒重 (g)	1)	
											外観 品質	エルシン酸 含有率 (%)
【試験機関・試験地名】												
【鹿児島県大隅支場】												
東北96号	5.15	141	0.3	36.9	87	42.1	15.5	90	667	3.2	4.0	0.0
ななしきぶ(対照)	5.19	144	0.3	42.2	100	40.7	17.2	100	659	3.1	3.7	0.0
オオミナタネ(標準)	5.13	156	0.3	44.5	106	45.3	20.1	117	659	3.3	3.5	43.1
【鹿児島県東串良町】												
東北96号	5.12	132	-	33.3	94	42.8	14.5	99	666	3.4	7.8	-
ななしきぶ(対照)	5.16	130	-	35.4	100	41.1	14.6	100	655	3.1	7.3	-

- 注. 1) 外観品質 鹿児島県大隅支場では5:上中~上下、4:中上、3:中中、2:中下、1:下上~下中
 東串良町では9:上上、8:上中、7:上下、6:中上、5:中中、4:中下、3:下

表3. 搾油業者A社および育成地における食味試験成績

試験機関	試験 年度	評価項目			
		色	香り	味	食感
搾油業者A社	2010	0.17	1.17	1.67 *	0.83 *
	2011	-0.33	0.83	0.50	0.83
	平均	-0.08	1.00	1.09	0.83
育成地	2010	0.50	0.86	1.07 **	0.57
	2011	0.13	0.06	-0.13	-0.19
	平均	0.32	0.46	0.47	0.19

- 注. 1) 2010年度(2011年収穫)および2011年度(2012年収穫)鹿児島県産子実を原料とする圧搾油
 (搾油業者A社製)を供試材料とし、生油で評価を行った。
 2) 「ななしきぶ」と比較して以下の方法で評価点を付けた。
 -3:かなり不良、-2:少し不良、-1:やや不良、0:普通、+1:やや良、+2:少し良、+3:かなり良
 3) 搾油業者A社は各年度6名ずつ、育成地は2010年度が14名、2011年度が16名のパネラーが評価した。
 4) 「ななしきぶ」との差についてt検定を行った。*:5%水準で有意差あり、**:1%水準で有意差あり

対象作物、普及対象

- ・なたね、暖地

対象農家

- ・油糧用なたねを生産する農家

必要な道具

- ・なたね生産に用いる一般的な農業機械など

関連HP(成果情報)

その他

- ・採種および栽培において、エルシン酸の混入を防止するために他のなたね品種およびアブラナ科植物との交雑に留意する。
- ・菌核病対策として過度の密植および多肥栽培を避け、輪作等の耕種的防除に努める。